

金蘭短大 稲田 しげ

○北田 伸子

1. 昨年の家政学会総会に於て発表したまつりぐけに関する調査で短大入学生にまつりぐけを課したが、再び同学生にまつりぐけを課し短大で学んだ実態を調べた。そのまつりぐけと手法的に異なる三つ折りぐけとの比較を行ない、能率的合理的なまつりぐけの方法を把握したいと思った。

2. 短大学生のまつりぐけと三つ折りぐけの動作を8ミリカメラで高速度撮影し、そのフィルムに基づき分析し併せて職業的熟練者のそれと比較した。撮影時間は約40秒である。まつりぐけ・三つ折りぐけは針目、速度等規制せず各自の動作が見られる様に行なわせた。

3. 作業動作の単位当り所要時間について。まつりぐけと三つ折りぐけの比較において手法的違いによる差はなく個人差がみられた。熟練者と未熟練者の比較において所要時間の変化が熟練者にみられかつ短かった。一作業動作の時間分析の比較において、まつりぐけと三つ折りぐけでは、折山を抄う、糸抜きの所要時間は三つ折りの方が短かく、熟練者と未熟練者では、糸抜きの所要時間で差の大きいことが判った。2)両手指先の動きについて。熟練者は何れも動きが小さく、早く、規則的であり未熟練者の右手の動きは大きく不規則であり、左手の動きは殆んどない。3)布の動きについて。まつりぐけ・三つ折りぐけ共熟練者の場合傾斜が大きく、未熟練者においては少ない傾向であった。